



愛川ふれあいの村4月の風景

平成28年4月 自然のたより

3月下旬から咲いていたサクラが暖冬の影響もあってか、4月上旬まで見事に咲き、来村者を楽しませてくれていました。鳥もサクラの花の蜜を吸いに来たり、虫を獲りに来たりと忙しそうに飛び回っていました。さまざまな色に染められた村内は賑やかさを増し、山笑う季節から緑が濃い季節に移っていきます。



空に映えるヤエザクラ



サクラの蜜を吸うメジロ



満開になったハナモモ



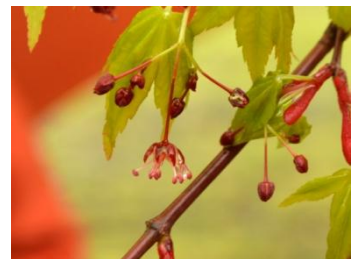
イカリソウ



タンポポとベニシジミ



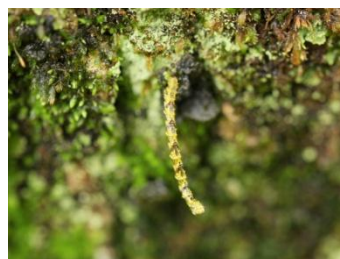
飛び立つモズ



イロハモミジの花



ノムラモミジ



キスジシロヒメシャク



ヒメリンゴの花



シジュウカラ



キラソウ



コアカミゴケ



ミミガタテンナンショウ



スジグロシロチョウ

◆タンポポにも種類があります◆

～タンポポの見分け方～

タンポポにも種類があるのを知っていますか。セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、シロバナタンポポ、カンサイタンポポ…、などいくつかの種類があります。タンポポは一見、見分けが付かないように思われますが、花の色や総苞片(葉が発達したもの)の形や性質、また、葉の状態などで見分けることができます。愛川ふれあいの村で見ることができるタンポポは、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、シロバナタンポポの3種類です。この3種類の見分け方のポイントとしては、シロバナタンポポは名前の通り、花びらが白いうことで分かりやすいです。しかし、セイヨウタンポポとカントウタンポポはとても良く似ていて、判断しにくいのです。セイヨウタンポポとカントウタンポポを見分けるには、花びらの下にある総苞片が外側に反り返っているか反り返っていないかが判断の決め手になります。総苞片が反り返っている方がセイヨウタンポポで、反り返っていない方がカントウタンポポです。

どこでも見ることができるタンポポですが、生命力の強いセイヨウタンポポが生息地を広げているため、日本に昔からあるカントウタンポポの生息地が侵略されてきています。カントウタンポポだけでなく、他の植物も生息地を追いやられている可能性があります。

失ってから気付くのでは遅いのです。今見られる自然を大切に、未来の為に維持・保存していくことが、これからの課題になるでしょう。(大瀧)



セイヨウタンポポ



カントウタンポポ

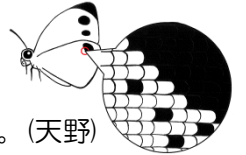
総苞片

▼再利用の達人▼

春になるとモンシロチョウを始めとする沢山のチョウを見かけます。皆さんはチョウを捕まえたとき、粉のようなものが指についたことはありませんか。これは鱗粉(りんぷん)といい、その名の通り魚の鱗に似た粉のようなもので、水をはじいたり体温を調節したり、さらに羽の模様も鱗粉が作っているのです。

その羽を彩る鱗粉ですが、サナギの頃に摂取した栄養素の不要物(老廃物)を使い、鱗粉の一枚一枚に色を付け、模様を作っていたのです。鮮やかな模様を作り出すチョウたちにはこのような秘密があったのですね。

私たちもチョウを見習い、限りある資源を無駄にせず、有効に使っていきたいですね。(天野)



★旬のお知らせ：5月★

新年度になり、環境が変わった方もいると思います。新しい環境に適応できず、「やる気が出ない」「5月病かな」と思う方もいるかと思えます。そんな5月病を吹き飛ばしてくれる食材が春の味覚「たけのこ」です。たけのこを茹でた時に出る白い塊を見て、食べられるかなと不安に思う方も多いのではないのでしょうか。

その白い塊の正体は、「チロシン」というアミノ酸の一種です。チロシンは、体に取り込むと、意欲が出たりポジティブになるドーパミンやノルアドレナリンに脳内で変換され、やる気アップに繋がります。

5月病を感じる前にたけのこを食べ「やる気アップ」で5月病を乗り越えたいですね。(鷲山)



◎五月の

注目ポイント◎

四月の桜の後に楽しませてくれるのが『藤の花』です。藤の花は、日本古来の花木と言われ、万葉集にも登場するほど古くから日本人にとって馴染み深い植物です。

近年では、公園などで藤棚が作られている所もあり、目にする機会が多いのではないのでしょうか。しかしこの藤の花、山中で咲いていると、その山は「荒廃している」と言われることがあります。理由は、手入れされていない山には、藤は咲かないからです。藤は、林業などを生業なりわいにしている人にとつては厄介な植物です。なぜかという、藤のツルが他の木の幹に絡みつき、樹冠にまで達して日光を遮り、枯らしてしまうからです。また木の幹に食い込んでしまうため、木は売り物にならなくなります。そのため、山で藤をみつけた時は、ツルを切ってしまうのです。

一方、人の手が行き届いていない山では好き放題成長し、綺麗な花を咲かせています。街中では見惚れる花も、山中で出会った少し考えさせられます。ふれあいの村でも、事務所横に藤棚があります。毎年、淡い紫色のキレイな花を咲かせていますので、ぜひ見学にいらしてください。(高橋)



発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・大瀧裕基子・鷲山裕 イラスト：天野智裕

文章：高橋博・天野智裕・鷲山裕・大瀧裕基子

編集：大瀧裕基子・吉田文雄



愛川ふれあいの村で、検索★